

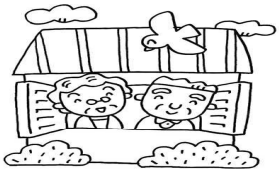
こんにちは、 日本共産党井上けんじです



日本共産党南地区委員会 ☎ 371-9164 自宅 ☎ (F兼) 691-3323 (携帯) 090-7880-9442
 日本共産党京都市会議員団 ☎ 222-3728 FAX 211-2130
 市会議員団ホームページ <http://cpgkyoto.jp/> E-mail info@cpgkyoto.jp 2020年9月27日

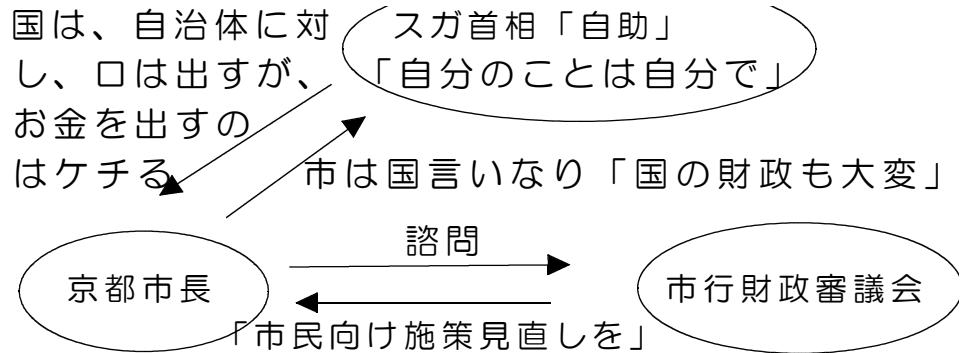
高齢者インフルエンザ予防接種

- 10月15日から実施されます。
- ◎ 対象は原則として65歳以上の方。
 - ◎ 場所は協力医療機関（南区のほとんどの病院・診療所）にて。年齢の分かるもの持参。
 - ◎ 料金は2,000円ですが、低所得の方などは安くなります。
 - ◎ 安くなる人は、事前に、①協力医療機関または井上議員宛て、申請書用紙を入手し、②郵便にて申請書を郵送（茨木市の民間会社へ）。84円切手は自己負担。③返送されてきた証明書を持って、④予約のうえ、接種を受けに行く。無料の方以外は医療機関にお金を払う。
- ※ 公務の民間化ではなく、市自身が担当すべきです。安くなるとは言ってもお金の負担も大変です。



安くなる方

総所得金額125万円以下=1,500円
 " 100万円以下=1,000円
 市民税非課税、生活保護世帯=無料
 2,000円の方は、直接、④から。



16日、3回目の「京都市行財政審議会」(大)の先生等を市長が指名して構成。市は財政危機だから改革案を考えてほしいと依頼。諮問。改革市民にとつては大改革が開かれました。国保や敬老乗車証、学童う歯制度等がやり玉に挙がり、「見直し」の大合唱です。

市長の目指す市民サービス切捨て策にお墨

○「国民健康保険や敬老乗車証の見直しを」

○「保育料軽減や保育園職員への労働条件改

付きを得ようとするものですが、元々、審議会委員は市長の「お友達」の先生方。市民から選ばれた訳でもないのに議論の内容を来年度予算に反映させるなどと言っておられます。その一端を紹介します。

スガ首相「自助努力を」 市長「改革へ、ご意見頂きたい」 市審議会「国保など見直しを」



少人数学級求める署名活動(9/19)



善に多くのお金をかけてきたことも財政危機の「要因」

○「学童う歯対策の見直しを」

○「被災者住宅再建支援については、自助の取組を促すべき」

○「財政が厳しいのは、福祉など市民サービスが、長い間、大きかったからではないか」

○「要介護認定者が多い。利用料が安く、必要以上に利用しているのでは」

○「財政健全化に向け、①地方交付税(国から自治体へ来るお金)の増額、②税収の底上げ、

「スガ首相の「自助」は国民だけでなく自治体も対象。自治体への必要な金を削減。市長も言いなりで市民に「自助」を押し付け。10年前は民主単独で期待外れ。今度の野党連合政権は、一緒に

こくた恵二衆院議員と街頭から議会報告

※ 井上議員の訴え要旨を紹介します。



③ 施策の見直し、の三つの課題があるが、①は相手が話、②もすぐにはムリ。従って③の見直しを(井上議員の感想)そういう理屈で、特に①を放棄、国言いなり。②も、累進性(所得に応じた負担)との発想が皆無)